

Genus *Clathroterebra* n. g. スノメギリ属

Type species: *Terebra fortunei* Deshayes ヒメスノメギリ

原殻は不明。殻は甚だ長く紡錘形で、螺層も高く、縫合は深く、縦肋は細く、肋間は広く、螺状溝は全面にわたり分布するがその中の1溝が縫合下帯を切る。

*C. fortunei* (Deshayes, 1857)

ヒメスノメギリ

*C. hirasei* (Vredenburg, 1921)

スノメギリ

OYAMA 1961 Venus 21 p. 108

CLATHROTREBRA

OYAMA 1961

T. S. FORTUNEI

*Clathroterebra* Oyama, 1961, Venus 21 (2): 188. Type species, *Terebra fortunei* Deshayes, 1857, recent, Western Pacific.

B & C 1987

*Clathroterebra* Oyama, 1961 スノメギリ属

本属は次の属と共に海岸近くには産せず、従って打上げない。そして邦産種は2種共分布が狭いが、熱帯地方に化石が多い。

*C. fortunei* (Deshayes, 1857) ヒメスノメギリは原産地が支那海で、本邦では豊後水道から熊野灘にかけて分布し、生息深度を東は100ひろと報じた。

*C. hirasei* (Vredenburg, 1921) スノメギリはビルマの化石と平瀬のスノメギリとに対して与へた名で、邦産の型は豊後水道(松山・和気)から和歌山県にかけて分布する。

*C. makiyamae* (Tsuda, 1959) マキヤマスノメギリ(新称)は八尾層群から報告された。

OYAMA 1961 Venus 21 p. 115